

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名	鋼構造物の連結に関する検討小委員会	委員長	山口隆司	連絡幹事	山口隆司
活動予定期間	平成 21 年 2 月 ～ 平成 24 年 2 月 (3 年間)				
活動の目的	<p>鋼・合成構造標準示方書（設計編）「11 章連結部」における実務設計適用にあたっての課題抽出を行い，改訂に向けての資料収集・作成を行う。</p> <p>具体的には，(1)限界状態（すべり限界，降伏限界，支圧限界，併用継手限界）の明確化，(2)継手耐力評価法に関する検討，(3)各種溶接継手の疲労強度に関する最新の論文・技術資料の収集整理を行う。</p>				
前回鋼構造委員会報告後の活動状況	<p>これまでの委員会で議論された『鋼・合成構造標準示方書（設計編）11 章連結部』の課題について関連する技術資料・最新の文献を整理し，分担して報告書の執筆を行った。</p> <p>前回鋼構造委員会報告後は，下記の日程で最終全体委員会を開催した。また，その後に委員長および幹事で報告書原稿の読み合わせを行い，原稿の修正を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 15 回小委員会：平成 24 年 1 月 25 日（出席者 10 名） ・ 幹事会（原稿読み合わせ）：平成 24 年 2 月 20 日，3 月 17 日，4 月 16 日 ・ 				
今後の活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年 5 月中：報告書印刷 ・ 平成 24 年 8 月 3 日：第 15 回 鋼構造と橋に関するシンポジウムにて成果報告を行う 				
目標成果	鋼・合成構造標準示方書「11 章 連結部」の課題の整理と改訂に向けた参考資料の収集整理。				
PRポイント	鋼・合成構造標準示方書「11 章連結部」の <u>実務設計への積極的な適用を可能とするための活動を行う。</u>				
その他					